

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和2年 6月 29日

兵庫県知事 殿

提出者

住所 兵庫県加古川市金沢町7番地

氏名 関西熱化学株式会社 加古川工場
常務取締役工場長 長谷川 幸英

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 079-436-1525

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	関西熱化学株式会社 加古川工場
事業場の所在地	兵庫県加古川市金沢町7番地
計画期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項 別紙1, 2のとおり	
①事業の種類	/
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 別紙1, 2のとおり	
(管理体制図)	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 別紙1, 2のとおり			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項 別紙1, 2のとおり	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 **別紙1, 2のとおり**

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】 別紙1, 2のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組)	

(第6面)

備考

1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2 当該年度の6月30日までに提出すること。

3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。

7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)
 現状：前年度(令和元年度)実績量
 計画：今年度(令和2年度)計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
0100燃え殻																				
0200汚泥	21262	21500	3835	4000	0	0	16925	17000	0	0	502	500	0	0	502	500	0	0	0	0
0300廃油	15	20	0	0	0	0	0	0	0	0	15	20	15	20	15	20	0	0	0	0
0400廃酸																				
0500廃アルカリ																				
0600廃プラスチック類	107	120	0	0	0	0	0	0	0	0	107	120	100	110	9	10	0	0	0	0
0700紙くず																				
0800木くず	53	60	0	0	0	0	0	0	0	0	53	60	53	60	53	60	0	0	0	0
0900繊維くず																				
1000動植物性残渣																				
1100ゴムくず	99	100	0	0	0	0	0	0	0	0	99	100	0	0	99	100	0	0	0	0
1200金属くず	1405	1500	0	0	0	0	0	0	0	0	1405	1500	0	0	1405	1500	0	0	0	0
1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	465	500	0	0	0	0	0	0	0	0	465	500	464	499	448	480	0	0	0	0
1400鉱さい																				
1500がれき類	2883	3000	0	0	0	0	0	0	0	0	2883	3000	2883	3000	2768	2880	0	0	0	0
1600動物のふん尿																				
1700動物の死体																				
1800ばいじん																				
合計	26289	26800	3835	4000	0	0	16925	17000	0	0	5529	5800	3515	3689	5299	5550	0	0	0	0

別紙2 (廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	1731 コークス製造業
②事業の規模	製品出荷金額等 861億円 (令和元年度実績)
③従業員数	329人 (令和2年3月末時点)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙(廃棄物処理フロー)参照

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図等, 別紙を参照)

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 排水処理工程から発生する汚泥の資源化(自社処理)。 排出廃棄物の再利用先模索及び実施。 工場外からの不要資材削減(不用品返却)。 事務用紙類再利用。
②計画	(今後実施する予定の取組) これまでに実施した取り組みを今後も継続し、排出抑制並びにリサイクル(再利用・再生利用)に努める。

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 工場内で発生する全ての廃棄物に対し、廃棄物の分別方法、保管場所、保管場所への持ち込み管理方法などを工場の廃棄物管理標準に織り込み運用している。 (平成29年10月度からは水銀使用製品産業廃棄物も実施)
②計画	(今後、分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も現状の運用を継続すると共に、分別回収の徹底を図る。

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 排水処理工程から発生する汚泥(有機性)を資源として再利用している。
②計画	(今後実施する予定の取組) 今後も排水処理工程から発生する汚泥(有機性)を資源として工場内で再利用する。

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 排水処理工程から発生する汚泥(有機性)を脱水処理(遠心分離機)で減量化している。
②計画	(今後実施する予定の取組) 今後も排水処理工程から発生する汚泥(有機性)を脱水処理(遠心分離機)で減量化する。

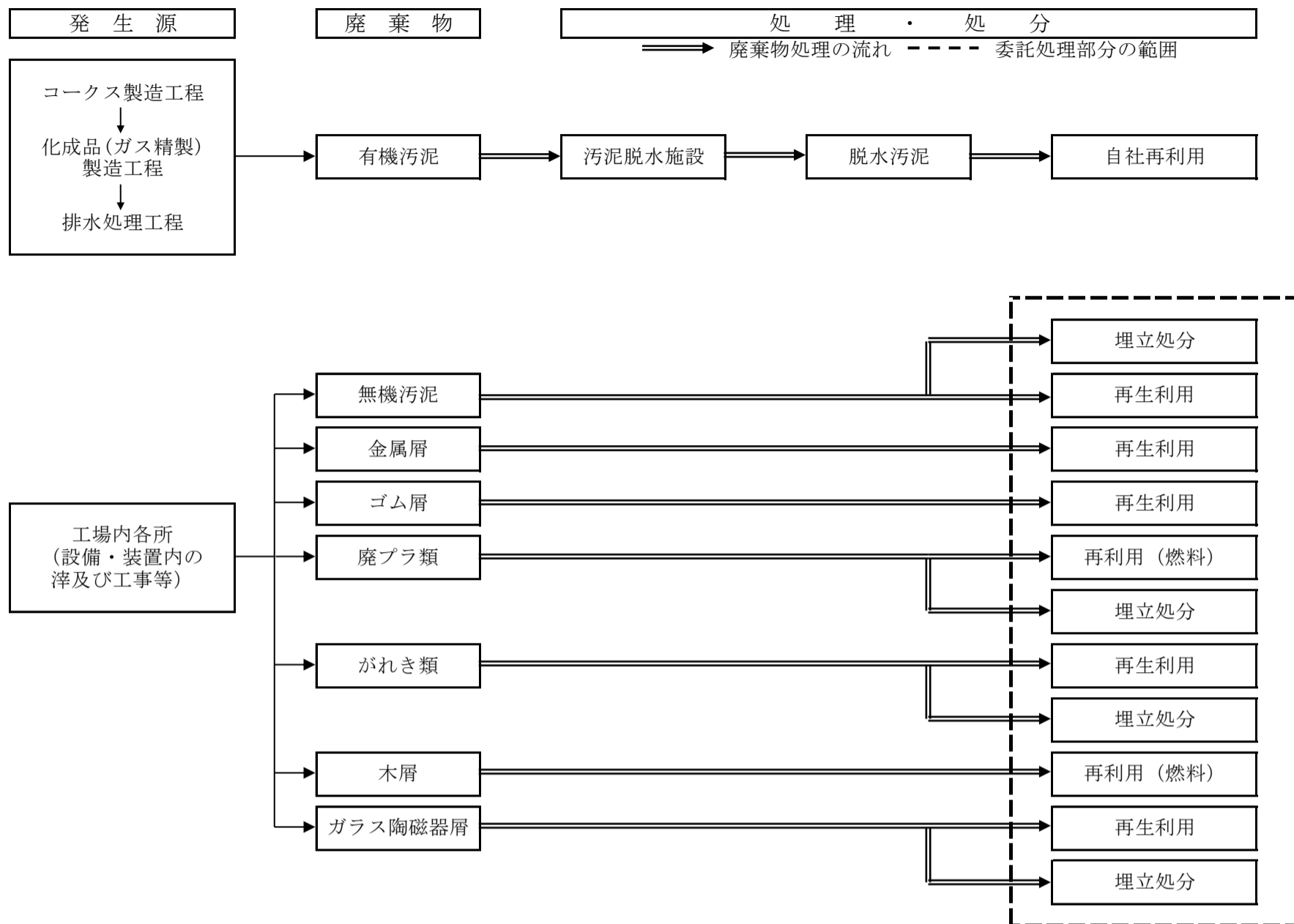
7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特になし(自ら行う埋立処分・海洋投入処分なし)。
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし(自ら行う埋立処分・海洋投入処分の計画なし)。

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 排出廃棄物の再利用先模索及び実施。 処理事業者選定、処分場視察等による適正処理の確認。
②計画	(今後実施する予定の取組) 今後も引き続き、現在実施している廃棄物の再利用を継続すると共に、がれき類、廃プラ類の再生可能品への転換や再生利用先の模索等を行い、埋立処分量低減並びに適正処理を推進する。

別紙（廃棄物処理フロー）



別紙（産業廃棄物の処理に係る管理体制）

統括責任者		所属：加古川工場長
役割	工場環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物処理に関する必要事項の検討 ○廃棄物に関する法令改正・情報等の提供 ○工場の廃棄物管理規定の改廃検討 ○廃棄物処理量の報告（1／月） <ul style="list-style-type: none"> ・委員長 - 工場長 ・委員 - 関係部署の部課長 ・事務局 - 環境保安部
	廃棄物処理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物処理施設及び保管場所の管理 ○廃棄物の発生量・処分量把握 ○マニフェストの交付と管理 ○運搬業者・処理業者の調査・選定及び管理 ○廃棄物処理委託契約の締結
	技術管理者	○廃棄物処理施設の運転管理及び整備状況把握

廃棄物管理組織

```

graph TD
    Manager[工場長 (統括責任者)]
    Committee[工場環境委員会]
    GenAff[総務部]
    PlanMgmt[企画管理部]
    Mfg[製造部]
    Equip[設備部]
    EnvSec[環境保安部]
    AffCo[関連会社]
    CoopCo[協力会社]

    Manager --- Committee
    Manager --- GenAff
    Manager --- PlanMgmt
    Manager --- Mfg
    Manager --- Equip
    Manager --- EnvSec
    Mfg --- Res[廃棄物処理責任者]
    Mfg --- TechMgr[技術管理者]
    EnvSec -.-> AffCo
    EnvSec -.-> CoopCo
    
```